会社を元気にする大作戦

大阪の元気企業が実践している、社内を活性化させる方法とは？ vol.007

5S運動の発表会で、社内コミュニケーションが活発化

商業印刷全般を扱う新和印刷。大手弱電メーカーを得意先に持ち、家電製品の取扱説明書の印刷も多く手がける。「取扱説明書は製品の一部と位置づけられており、厳しい品質管理が求められる」と藤井氏。そこで「汚れや落丁などの事故率を減らそう」と2年前から取り組んでいるのが5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）活動だ。「以前は、納期に追われ、異なる印刷物の作業を同じテーブルでしていることがあった。混入防止策として単一テーブル単一作業を徹底することで、まずはミスが出にくい環境を整えることが重要と考えた」と狙いを話す。

製造現場の従業員を6チームに分け提案を出す仕組みを整えた。工具を出し入れできる専門の箱が置かれ、物置がわりになっていた棚は撤去された。毎週、社長をはじめとするメンバーが工場内をパトロール。不備が見つかると、職場ごとに設けられている掲示板に写真が張り出される。一方、半期に一度、各チームから出されたアイデアを表彰する「5S発表会」を設け、やる気を醸成している。「2年で見違えるほどきれいになりました」と武谷さんもその効果を実感。事故率もこの2年で大幅削減につながった。

各チームは5Sのための会議を毎週自発的に開催している。発表会は他チームの取り組みを知る機会となっており、職場内だけでなく各職場を横断したコミュニケーションが活発化。「後ろの工程を担うチームから、上流の工程を担うチームに対し改善を求める風土もできてきた」と藤井氏。今後は、「目標を具体的に数値化し、利益につながる5S運動へと進化させていきたい」と話している。

◀「5S発表会」の様子

▼工場の各部署には「5S掲示板」が設けられている。毎週行われる「5Sパトロール」（写真下）で指摘された内容が写真で掲出され、情報が共有できるようになっている。

新和印刷株式会社
http://www.shinwa-printing.co.jp/
TEL 06-6956-2100
品質保証部 藤井 隆氏（写真左）
社長室 人事部 武谷 和美氏（写真右）

印刷に付帯するマーケティングから効果測定まで一貫して提案できるのも強み。海外に進出した企業向けに現地の印刷企業との間に立った品質管理も手がける。

会社DATA 設立／1952年 資本金／6,935万円 従業員数／126名

2011年本紙3月号表紙枠争奪!!
会社を元気にする「ドリームチーム選手権」

中小企業の社内プロジェクト応援企画

「販促」「社内美化」「生産性向上」など、自由なテーマで社内プロジェクトに取り組むチームを募集。最優秀チームは本紙「b-platz press」2011年３月号の表紙で紹介する。詳細は、WEBにて。

申込締切 9月13日（月）
参加費 無料
問合せ 大阪産業創造館「ドリームチーム選手権」事務局 06-6264-9901
申込み 下記URLよりお申込みください
URL http://www.sansokan.jp/dt/
主催 大阪産業創造館

製造現場訪問記 「ものづくりの心拝見」「銀引き鏡」編

株式会社クヌギザ
http://www.kunugiza.co.jp/

名前の響きから単純に木工メーカーかと思い訪問した株式会社クヌギザ（生野区巽南）。実は業界で知らない人はいない薄板鏡の専門メーカーである。特に光の反射率が高い『銀引き鏡』では圧倒的な技術力を持ち、他の追随を許さない。アルミ蒸着の鏡と映し比べてみたが、実際自分の顔がディカプリオに見えた…ような気がする。

本社工場では製造された鏡の裁断、研磨、検品を行っている。洗浄後にシリコンコートをほどこし、指紋の付きにくい仕上げをするのは同社のこだわりだ。イチロー並みの動体視力を誇る梶原さんは、検品のプロ。「鏡の傷とホコリを瞬時に見分ける眼が必要。経験のいる仕事」と胸をはる。

椚座社長も「目視という手間が入るからこそ、製品を大切に思う気持ちが生まれる。人間味のあるものづくりをしたい」と語るハートフルマン。若手の育成に戸惑ったこともあったが、衝突を恐れず何でも話せる環境作りに注力してきた。

ここ十数年で多くの同業者が消えた。オンリーワンからナンバーワンになった同社が次に狙うのは世界。常に向上心を忘れない椚座社長の姿を、これからも銀引き鏡は映し出していくだろう。

今月の心作「感謝のなぞかけ」

「クヌギザ」とかけて
「日本名園巡り」と解く。
その心は
「鏡と生きます
（加賀、水戸行きます）」

大阪産業創造館
ものづくりチーム プランナー
竹内 心作氏

岡山県出身、元銀行マン。この春から製造業担当に替わり、工業高校の教科書片手に悪戦苦闘の日々。愛読書は「鬼平犯科帳」、座右の銘は「守破離」の、若年寄キャラがウリの28歳。

▲検品作業を行う梶原さん（写真左）と椚座社長。

発行所／〒541-0053 大阪市中央区本町1-4-5 財団法人大阪市都市型産業振興センター（大阪産業創造館） TEL 06-6264-9800 編集協力／デイジーヒル株式会社